

見どころ案内

コショウノキ (ジンチョウゲ科)

関東地方以西の太平洋側～沖縄の林地に生える常緑低木で、枝先に芳香のある白花が結構付いてきます。

ウメ (バラ科)

‘藤牡丹枝垂れ’は満開、^{くれは}‘呉服枝垂れ’が咲き始め、更に谷奥に進むと早春を彩るミツマタなども咲いています。また、茶室前の^{すいきんくつ}水琴窟の音も是非聞いてみてください。

モモ (バラ科)

中国原産で白色から濃紅色の花を咲かせます。ピンク色一重の‘雛遊び’に続いて白色八重花の‘関白’も咲いています。

アケボノアセビ(ツツジ科)

アセビは白色の花ですが、このアセビは、淡い紅色の花を咲かせます。ランブ状の花が密生して可愛い姿ですが、有毒で殺虫剤などに使われていました。

サクラ (バラ科)

芝生広場のサクラ植栽区ではカワヅザクラが終わりに近く、カンヒザクラが満開。もう少しするとソメイヨシノも咲き始め。ゴールデンウィークまでのサクラのリレーが始まっています。芝生広場奥では黄色の花を付ける別名「ハルコガネバナ」のサンシュ、紫花のゲンカイツツジも見られ、イベント広場への階段脇にはジンチョウゲも見ることができます。

ウメ園(バラ科)

中段の早生はピークを過ぎていますが、下段の晩生は満開。ウメ園全面が様々な花色で彩られています。下からだけではなく、あずまやに繋がる小道を上がりながら間近では是非御覧下さい。

スイセン“テイタテイト” (ヒガンバナ科)

黄色い花を咲かせる 15cm くらいのミニのスイセンです。可愛い姿を是非御覧下さい

ススキノキ (ススキノキ科)

当園では1992年以来25年ぶりにご覧いただけます。前回の開花株は枯死したため、この開花株は2014年10月の導入株。黒色の花茎が立ち上がり、無数のめしべとおしべの入ったつぼみが付いており、花穂の下部からおしべが白く展開してきました。

ゼラニウム展

当園のゼラニウムコレクションを一同にご覧いただけます。華やかな園芸品種のみならず、国内でも貴重な「変わり葉ゼラニウム」は必見です！お見逃しなく！！

[展示温室にて～4/19]

大温室改修のため休館

リニューアルオープンは平成29年秋ごろ(予定)です。

クリスマスローズ(キンポウゲ科)

一重～八重まで様々な花色の園芸品種が一面を埋め尽くしております。野生種はロックガーデンにてニゲルを始め、リビドウス コルシクス、アトルベンスがご覧いただけます。

